

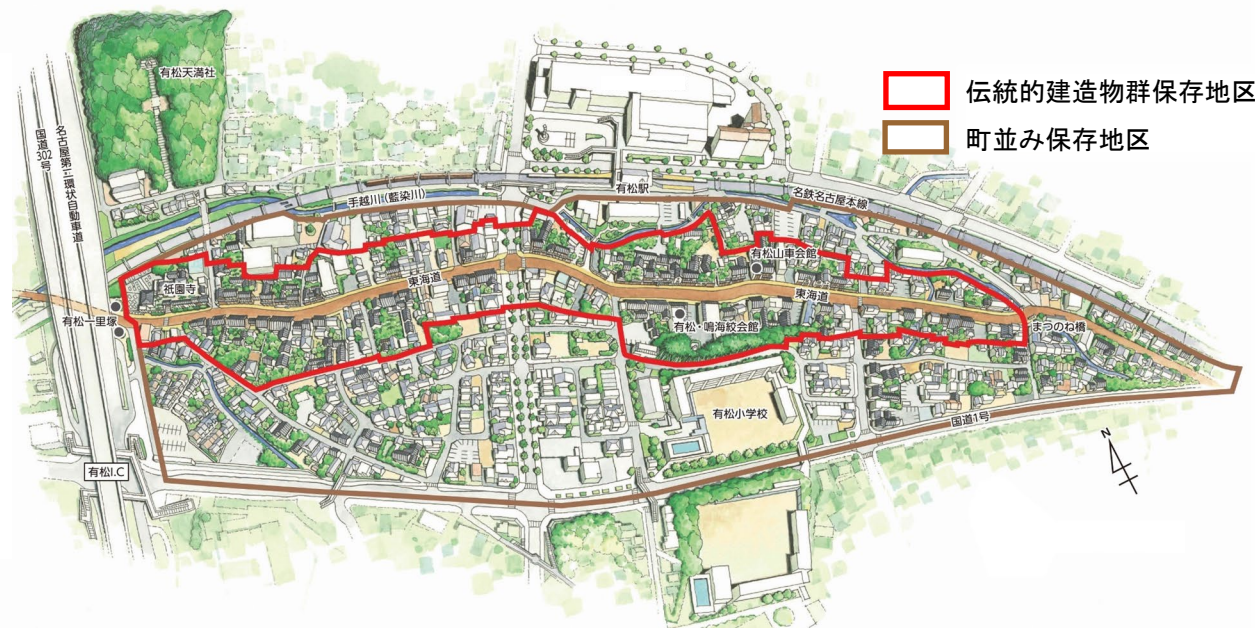
(1) 保存地区の概要

地区名	名古屋市有松
種別	染織町
面積	約7.3ha
選定年月日	平成28年7月25日

特徴 名古屋市有松伝統的建造物群保存地区は、慶長13年(1608)に東海道の鳴海宿と池鯉鮒(ちりゅう)宿の間に開かれ、東海道を往来する旅人の土産物として考案された有松絞りとともに発展したまちである。ゆるやかに曲がった東海道沿いに、広い間口を持つ絞商の主屋や土蔵、門・塀が数多く見られ、比較的ゆったりとした町並みが継承されている。



※現在の市域をもとに作成



(2) 保存地区のあゆみ

昭和30年(1955)	「有松町民家調査」刊行
昭和48年(1973)	「有松まちづくりの会」発足
昭和49年(1974)	有松・妻籠・今井町による「町並み保存連盟」が有松で発足
昭和50年(1975)	「有松町並み調査報告」刊行
昭和53年(1978)	「第1回全国町並みゼミ」の開催(有松・足助)
昭和58年(1983)	「名古屋市町並み保存要綱」の策定
昭和59年(1984)	「有松町並み保存地区」指定 (3月) 町並み保存地区修理・修景事業の開始
昭和63年(1988)	有松山車会館が開館
平成20年(2008)	東海道無電柱化事業(～平成24年度)
平成24年(2012)	有松伝統的建造物群保存対策調査の実施(～平成25年度)
平成28年(2016)	『重要伝統的建造物群保存地区』選定(7月)
平成29年(2017)	伝建地区修理・修景事業の開始 「第40回全国町並みゼミ名古屋有松大会」の開催
令和元年(2019)	「江戸時代の情緒に触れる絞りの産地 ～藍染が風にゆれる町 有松～」が日本遺産に認定
令和3年(2021)	名古屋市有松伝統的建造物群保存地区防災計画の策定

(3) 保存地区の保存と整備

町並み案内看板の設置(H28年度)



修理修景事業(H29年度～)

令和元年度	4件	令和4年度	0件	令和7年度	0件
令和2年度	2件	令和5年度	2件		
令和3年度	4件	令和6年度	0件		
累計(平成29年度～令和7年度) 17件					



(4) 保存地区の活用とまちづくり

日本遺産有松の推進

有松には有松・鳴海絞り、歴史的な町並み、山車と祭り文化の3つの文化が根付いており、これらによって構成される有松の文化のさらなる磨き上げを図り、発信していくことで、国内や海外からの来訪者が有松へ訪れることを目指します。



日本遺産有松のホームページ

市指定文化財岡家住宅の保存活用

伝統的建造物の公開施設、日本遺産ガイダンス施設の整備に向けて、令和3年度に名古屋市が市指定文化財岡家住宅を取得。暫定的なガイダンス施設として活用するとともに、現在は建物全体の公開活用に向けた実施設計を進めています。



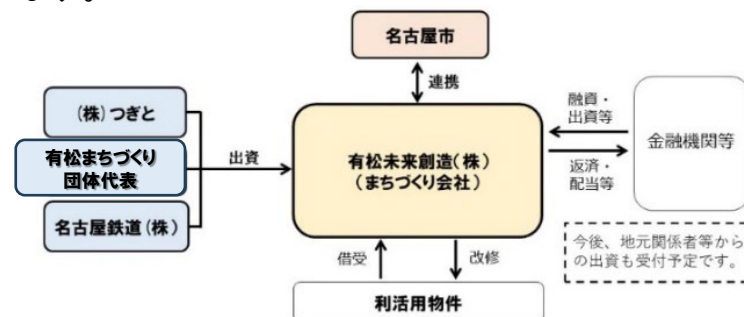
建物公開の様子

古民家利活用事業の推進

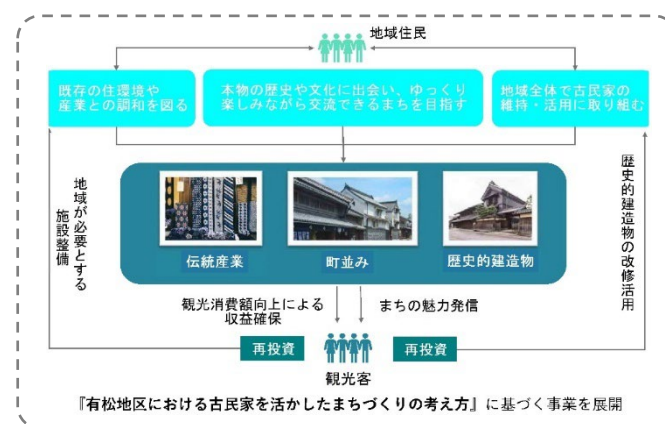
名古屋市と連携して主体的に活動する民間企業が、有松町並み保存地区内にある伝統的建造物を含む複数の物件(古民家)を面的・連鎖的に利活用することで地区の更なる魅力向上を図ります。

令和5年度に連携事業者として「(株)つぎと」と連携協定を締結し、令和7年2月に古民家利活用事業を推進するまちづくり会社「有松未来創造(株)」が立ち上がりました。

現在複数の古民家において、宿泊・飲食施設としての改修計画を進めています。



有松未来創造(株)の構成



事業スキーム

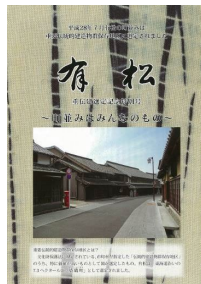
(5) 住民等の取組

まちづくり団体の活動

- ①月1回の会合(有松まちづくりの会:50年以上継続)
- ②町並みガイドの実施(有松あないびとの会)
- ③広報活動…HPによる紹介、会報の発行 等



町並みガイド



会報



HP

「有松町並み相談会」の開催

有松の歴史的町並み及び良好な住環境の維持・向上を図るため、地元住民・商工業者が主体となり、建築行為等を行う際の事前相談会(意見交換)を平成28年度より開催。



相談会の様子



行事の開催

①有松絞りまつり



…絞りの実演・体験・展示 等

②有松山車まつり(有松天満社秋季大祭)



…山車の曳行、からくりの実演 等

③福よせ雛



…雛人形の展示 等